

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330611135	学泉アカデミーB (イラストテクニック) Potential Studies B	その他		専門	1	選択	1前期
科目の概要							
この授業は、保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を目指す学生の人間力を向上させるために位置付けられた科目群のひとつである。科目概要は以下のとおりである。(DP1) イラストテクニックを身につけることで、掲示物・配布物の作成、コミュニケーションが円滑に図れるようになることを目的とする(DP2)。また、自らが絵を描いたり、楽しんだりすることで子どもとの学習、遊び、活動の幅が広がることを理解する。							
学修内容				到達目標			
① イラストテクニックの基礎を理解し、実践練習をする。 ② 場面に応じた効果的なイラストの表現方法を学び 実践練習をする。				① 挿絵、似顔絵、イラストなどを描くことで、イラストテクニックの基礎を理解し、実践的な力が身についた。 ② 絵本、ペープサートなど、多様な表現方法を学び、実践的な力が身についた。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例					
前に踏み出す力	主体性	課題をするのに必要な知識について、自己学修ができる。 授業では、自らの意見を積極的に発言する。					
	働きかけ力						
	実行力	作品作りの手順や方法を考え、期日内に仕上げることができる。					
考え抜く力	課題発見力	情報を積極的に整理し、課題を見極めることができる。					
	計画力						
	創造力	固定観念にとらわれず、いろいろな角度から物事を考えることができる。					
チームで働く力	発信力	発表の仕方を工夫し、聞き手に分かりやすく発表できる。					
	傾聴力	グループ討議をする際には、人の意見を確認し、さらに自分の意見をのべることができる。					
	柔軟性						
	状況把握力						
	規律性	自分の都合を優先することなく、集団のルールを守ることができる。					
	ストレスコントロール力						
テキスト及び参考文献							
なし。 適宜資料を配布する。							
他科目との関連、資格との関連							
「学泉アカデミーB (イラストテクニック)」は、学科専門科目群のライフ開拓領域に配置されており、保育士や幼稚園教諭、小学校教諭としてふさわしい人間力を育成する科目である。人間力育成という観点で、他の学泉アカデミーとの関連がある科目である。 また、資格関連科目には該当しない。							
学修上の助言				受講生とのルール			
①作品制作は、上手い下手にこだわらず、楽しみながら丁寧に行うこと。 ②他人の作品を意欲的に鑑賞し、見る目を養うこと。				①講義中の私語は慎むこと。 ②提出物は期限を守り、必ず提出すること。			

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント	
学修成果	学期末試験	0	①		
			②		
	小テスト	0	①		
			②		
平常評価	レポート	0	①		
			②		
学修成果	成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	90	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストテクニックについて、場面ごとの正しい理解ができているか。また、実践力を身につけているかを作品の完成度で判断する。（特によい50点、工夫と努力が見られる30点、工夫と努力が必要である10点など） ・発表は、分かりやすく、ていねいに。クラスメイトを子どもに見立てた形で行う。その際、発表の仕方、説明の明瞭さ、聞いてもらう為の工夫を評価する。
			②	✓	
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> ・遅刻、無断欠席をせず、学習意欲を持って授業に参加できる。 ・課題は必ず提出し、グループ活動は協力的に行うことができる。 ・自分の意見を、積極的に発言することができる。
			②	✓	
総合評価割合		100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションの必要性和テクニックを正しく理解し、オリジナリティのある作品を制作・発表できた。 ・S・Aの評価は、授業への積極性とすべての作品に得点をつけ、その合計点で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・イラストレーションの必要性を理解し、作品制作、および実践発表ができた。 ・B・Cの評価は、授業への積極性とすべての作品に得点をつけ、その合計点で行う。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	授業の目的を理解する。(オリエンテーション) グループで『イラストしりとり』を行い、コミュニケーションツールとしてのイラストを理解する。	講義、演習	イラストテクニックの学修内容、注意点が理解できた。	予習 イラストしりとりとはなにか、調べてくる。 復習 人に伝わる絵を意識し、イラスト知りとりで楽しむ。	60	実行力 傾聴力
2	人の顔を描き分ける力を身につける。(こけし二十面相) アフリカ民族の仮面を参考に、オリジナルの仮面を10個描く(下書き)。	講義、演習	顔を書き分けるコツを理解できた。 たくさんの表情を書くことができた。	予習 民族の仮面にはどんなものがあるか、調べてくる。 復習 いろいろな表情の顔をかき分ける練習をする。	60	実行力 創造力 柔軟性
3	下書きの中から一つを選び、正書、着色をする。 (後に缶バッチになる)	講義、演習	缶バッチの下絵を完成できた。	予習 下書きを完成させ、着色のアイデアを固める 復習 感情を伝える顔を意識し、さらにいくつかの面を描く。	60	実行力 創造力
4	五大昔話の面白さ、不思議さを感じ取る。ペープサートの発表に向けて、グループごとに話し合い、役割分担を決める。	講義、グループ討論、実習	グループ討議に参加し、発表への計画を立てた。 割り当てられた仕事を行うことができた。	予習 五大昔話を調べ、読んでくる。 復習 担当となった昔話を読み、何が伝えたい話なのか汲み取る。	60	実行力 計画力 発信力
5	次週の発表に向けて、ペープサートを製作する。グループごとに練習をし、完成度を高める。	講義、演習 グループ討議	グループ討議に参加し、発表への計画を立てた。 割り当てられた仕事を行うことができた。	予習 製作に当たり、必要な資料、下書きを準備する。 復習 ペープサートを製作、発表への練習をする。	60	実行力 計画力 発信力
6	ペープサートの魅力や活用の仕方を理解し、発表、鑑賞、意見を述べ合う。	講義、発表	グループで協力し、みんなの前で発表ができた。 他のグループの作品を鑑賞し、感想、意見が言えた。	予習 どう演じたら見やすいか、伝わりやすいか、感局の視線を意識して練習する。 復習 みんなの感想、意見をもとに、どう演じたら子どもたちが喜ぶかを考える。	60	主体性 実行力 発信力 傾聴力
7	川遊びを通し、非日常の面白さ、子どもの視線を理解する。	体験演習	川遊びを体験し、非日常の楽しさを感じることができた。 おたより用の記事を収集できた。	予習 川での遊び方、危険回避の仕方などを調べる。 復習 イラストコラムのために、川遊びの中での出来事、感動、クラスメイトのようすを記録に残す。		実行力 柔軟性 規律性
8	体験をもとに、イラストコラムを完成させる。	体験講義、実習	イラストコラムを製作し、提出できた。	予習 体験学習での出来事を、どうまとめるか下書きをする。 復習 体験を人に伝えるためのイラストを意識し、違う場面も描く。	60	実行力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	自分似顔絵を完成させる。	講義、演習	自分似顔絵を作成し、提出できた。	予習 自分の顔の特徴を観察し、何枚も下絵を描く。 復習 どうすればもっと似たかを意識し、さらに描いてみる。	60	実行力 計画力 創造力
10	消しゴムはんこの手軽さ、味わいを理解し実際に作ってみる。カッターナイフでの彫り方をいろいろ試し練習する。	講義、演習	消しゴムはんこを一つ完成させる。	予習 消しゴムはんことは、どんなものか調べてくる。 復習 いくつも消しゴムを削り、カッターナイフの使い方を身につける。	60	実行力 創造力
11	実用的な、マイはんこを、作ってみる。	講義、演習、発表	マイはんこを製作し、提出できた。	予習 実用的な消しゴムはんこのアイデアを描く。 復習 余った消しゴムで、いくつかの消しゴムはんこを作る。	60	実行力 創造力
12	四コママンガの意義、作り方の基礎を理解し、下書きをたくさん描く。人にちゃんと伝わっているか、グループで討論する。	講義、演習、グループ討論、	四コママンガのアイデアを、下書きにできた。	予習 四コママンガには、どんなものがあるか調べる。 復習 どう描けば面白くなるか、人に伝わりやすくなるかを意識し、完成した下絵をさらに練りこむ。	60	実行力 創造力
13	一人最低2点。四コママンガを正書、着色する。	講義、演習	2点の四コママンガを着色し、提出できた。	予習 より良い下絵を完成させてくる。 復習 いろんなタイプの四コママンガを書いてみる。	60	実行力 創造力
14	絵手紙を製作し、いびつな線の味わい、手書きの魅力を理解する。	講義、演習	絵手紙を製作し、提出できた。	予習 絵手紙とは何かを、調べてくる。 復習 気楽に描くことを意識し、絵手紙を描く。	60	実行力 創造力
15	四コママンガを印刷したものを、それぞれ製本し、作品集を作る。背表紙をつける。レポートを書き、提出する。	講義、演習	四コママンガの作品集を完成させた。 レポートを書き、提出できた。	予習 簡単な製本の種類を調べてくる。 復習 イラストテクニックで身につけたことを役立てていく。		実行力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力